

山田小学校「まちたんけん学習」

地元の湯沢市立山田小学校の協力により、生活科の校外学習の一環として「まちたんけん学習」を2回に分けて実施しました。

内容は、地域を流れる田んぼの水はどこから来ているのか。なぜ、田んぼのあちらこちらに水路があるのかといった、小学校2年生が自発的に疑問に感じた項目について、パワーポイントによるスライド上映を実施しました。農業水利施設の歴史や施設の果たしている役割、農業の役割、地域を潤している水がどこから流れてきて、誰が管理しているのかということなどを2回の学習会で学んでもらうことができました。それぞれ子ども達から活発な質問があり、水土里ネットについての理解や施設の重要性を学んでもらい、後日、生徒からの感想文が届けられ大変有意義な運動となりました。

また、以前は出前授業として水土里ネットから出向くことが多かったのですが、今回は子ども達が自ら「まちたんけん学習」ということで水土里ネットの事務所に来てくれて、こちらで用意された内容を聞くのではなく、自分たちが日常生活において感じた素朴な疑問を質問する学習の仕方が効果的であると感じました。今後とも創意工夫を努めながら、水土里ネットの役割の大切さを地域住民に伝えていきたいと考えています。



活動体制	
実施主体	水土里ネット山田五ヶ村（雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区）
後援・連携	湯沢市立山田小学校
実施期間	10月9日(火)、15日(月)
参加者	水土里ネット職員2名、小学生7名、先生2名
報道関連	秋田県雄勝地域振興局農林部農村整備課
活動実施年数	11年目（H14年～）
連絡先	〒012-0055 湯沢市山田字中屋敷139番地 雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区 TEL. 0183-73-0438
その他	東北推薦（H15）、秋田県奨励賞（H18）、農林水産大臣表彰（H18） 東北地方大賞（H19）、全国大賞（H19）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット山田五ヶ村（倉田 一治）

○活動の目標及び達成率	目標 小学校との連携 達成率 98%		
○活動に対する評価	・次世代を担う子ども達に、水路の大切さを感じてもらえるような内容を心がけている。		
判定基準	自己判定（達成度）	判定基準	自己判定（達成度）
	判定 評価等		判定 評価等
1. 取組体制について		④運動のPR	B 県のホームページ、水土里ネット広報誌等を活用
①役職員・組合員の参加	A 積極的に参加している	4. 運動の成果	
②後継者育成の工夫	A 小学校の子ども達に対する出前講座、体験学習等を推進	①他組織との連携構築	A 農地・水・環境保全向上対策活動組織との連携
2. 活動の意義性について		②地域住民等の理解	A 運動の継続により土地改良施設の多面的機能について理解が深まっている
①基本理念の設定	A 地域住民参加型の維持管理体制の確立	③施設管理・地域資源の保全強化	A 農地・水・環境保全向上対策活動組織との連携により、施設の管理・保全が強化されている
②地域の歴史等の伝承	A 地域の偉人について出前講座を実施	④運動の地域づくりへの関わり	A 農地・水・環境保全向上対策活動組織との連携により、地域づくりの関わりが大きくなっている
③運動の先駆性	A 25年前から維持管理コンテストを実施	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A 全ての活動組織からの事務受託を受け、積極的に活動を推進している
3. 運動の継続性・発展性		⑥地域農業振興への貢献	A 水土里ネットとして水田農業推進協議会、農業者大会、担い手育成推進協議会、耕作放棄地対策協議会の参画団体として意見発言を行っている
①運動の継続性	A 25年前から毎年維持管理コンテストを実施している	5. 今後の課題等について	
②運動の発展・拡大	A 農地・水・環境保全向上対策活動組織との連携	・水土里ネット管内だけでなく、広く地域住民に対する意識啓発のための情報発信の強化（現時点では、少し情報発信力が不足している）。	
③運動の計画性	A 地域住民参加型の維持管理体制を確立する目標を掲げている		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他